

【報道提供資料】
PRESS RELEASE



地域の環境課題と資源循環を学ぶ体験学習を実施します ～漂着アオサを資源として学ぶ、産官学金連携による学習機会の提供～

泉南市(市長:山本優真)は、国立大学法人神戸大学(学長:藤澤正人)、光オンデマンドケミカル株式会社(代表取締役 CEO:津田明彦)、株式会社ヴァイオス(代表取締役社長:吉村英樹)、株式会社池田泉州銀行(代表取締役頭取兼 CEO:阪口広一)と連携し、「漂着アオサ等のアップサイクルに向けた共同研究」を実施しています。

このたび、本共同研究の取組を活用した環境学習として、泉南市立樽井小学校 5 年生児童を対象に、神戸大学大学院理学研究科 津田明彦准教授による講習会及びタライサザンビーチでのアオサ回収体験を実施します。

また、当日は、セレッソ大阪のアンバサダーで、元プロサッカー選手の勝矢寿延氏と丸橋祐介氏も地域貢献活動の一環として参加し、児童と一緒にアオサ回収を行う予定です。

本学習では、児童がアオサ回収体験や講習を通じて、地域の環境課題や資源循環について学ぶとともに、大学の研究者やプロスポーツチーム関係者との交流を通じて、多様な学びや社会との関わりに触れる機会を提供します。

■事業の背景・目的

タライサザンビーチでは、毎年夏季に大量のアオサが漂着し、腐敗による悪臭や景観の悪化が海水浴等の観光分野に影響を与えています。また、回収したアオサは塩分や砂を多く含むため、焼却処理による焼却炉の劣化等の課題もあり、持続可能な処理方法の検討が必要でした。

これらの課題の解決に向け、泉南市では神戸大学、光オンデマンドケミカル株式会社、株式会社ヴァイオス及び株式会社池田泉州銀行と連携し、「漂着アオサ等のアップサイクルに向けた共同研究」を実施しています。この研究では、漂着アオサからバイオガスを発生させ、そのバイオガスから有用化学品を生成する技術の研究・実証を進め、漂着アオサを「廃棄物」ではなく「資源」として循環利用するモデルの構築を目指しています。令和7年度の第1期実証実験では、漂着アオサ由来のバイオガスからポリウレタン原料等として利用される有用化学品の合成に世界で初めて成功するなど、社会実装に向けた可能性が確認されました。

今回の体験学習は、

- ①海岸に漂着するアオサの影響を体験的に学ぶことで、児童の地域課題への理解を深める
 - ②回収した漂着アオサの資源としての活用方法について学ぶ
 - ③大学の研究者やプロスポーツチーム関係者等との交流を通じて、多様な学びや社会との関わり
に触れ、児童が将来の進路や学びについて考えるきっかけを創出する
- の3点を目的に実施するものです。

アオサ回収から有用化学品合成までの過程



共同研究の実施体制

実施機関・企業	役割
株式会社ヴァイオス	漂着アオサ等のバイオガス化及びバイオ液肥化
神戸大学	光オン・デマンド合成法の基礎科学研究
光オンデマンドケミカル株式会社	バイオガスから有用化学品への変換(光ものづくり事業化)
株式会社池田泉州銀行・泉南市	社会実装に向けた実証、制度検討、地域連携等

■第2期実証実験の開始

令和8年1月より、泉南市し尿処理施設「双子川浄苑」にメタン発酵システムを設置し、3月から漂着アオサや食品残さ等からバイオガスを生成する実証実験を開始しています。

本実証では、市内の小学校給食を製造する河北食品株式会社をはじめ、市内外の企業の協力のもと、学校給食の残飯や野菜くずなどの未利用資源をメタン発酵システムへ投入し、アオサ以外の資源も活用したバイオガスの安定的な生成および発生量の拡大に向けた検証を進めています。

これにより、漂着アオサのみならず、市内で発生する様々な未利用資源を有効活用した地域循環モデルの構築と、メタンガス発生量のスケールアップを目指しています。

また、生成したメタンガスは、神戸大学が設立した「KOBE 光ものづくりオープンイノベーション拠点」において、光オンデマンドケミカル株式会社が有用化学品の量産化に向けた技術実証に取り組みます。

泉南市第2期実証事業ビジネスモデル



Copyright © The Senzhu Ikeda Bank, Ltd., All Rights Reserved.

なお、本実証は、一般財団法人関西イノベーションセンターが実施する社会実装支援事業に採択されており、事業化・社会実装に向けた取組を推進しています。

本実証を通じて、地域で発生する未利用資源を活用した新たな資源循環モデルの構築を進めるとともに、環境負荷の低減と地域産業の発展につながる社会実装に向けた取組を推進します。

■環境学習実施概要

(1)日時

令和8年6月29日(月)9時15分～10時30分(予定) ※予備日:令和8年7月3日(金)

(2)場所

- ①講習会:SORA RINKUミーティングルーム(泉南市りんくう南浜2番201泉南りんくう公園内)
- ②アオサ回収:タリイサザンビーチ (泉南市りんくう南浜)

(3)参加者

樽井小学校 5年生児童

(4)講師

神戸大学大学院理学研究科 准教授 津田 明彦氏

(5)協力企業

- ①株式会社セレッソ大阪:アンバサダー派遣、児童との交流
- ②大塚製薬株式会社:熱中症対策飲料の提供、熱中症対策セミナーの実施

■当日スケジュール(予定)について

時間	内容	場所
9:15	児童集合	SORA RINKU
9:20	開会	
9:25	神戸大学大学院 津田明彦准教授による講習会	
9:45	大塚製薬株式会社による熱中症対策セミナー	
10:00	アオサ回収作業開始	タリイサザンビーチ
10:30	ミyakumiyakumoniメント前での記念撮影	

■取材について

取材をご希望の場合は、6月23日(火)までに別紙「取材申込書」のご提出をお願いいたします。

なお、児童のプライバシー保護のため、撮影可能時間、撮影可能エリア及び撮影可能範囲を設定しますので、当日は市職員及び学校教職員の指示に従って取材をお願いします。

■その他

本研究に係る詳細については、泉南市ウェブサイトをご確認いただきますようお願いいたします。

URL:<https://www.city.sennan.lg.jp/kakuka/seichousenryaku/renkei/kouminrenkei/11695.html>

【本件に関する連絡先】

大阪府泉南市 成長戦略室 連携戦略課 担当:西本、角谷

TEL:072-447-8816 Mail:renkei@city.sennan.lg.jp

FAX 送信票は不要です

下記事項をご記入の上、本用紙のみ送信してください。

泉南市連携戦略課 西本・角谷 宛

泉南市ふるさと戦略課 水内 宛

取材申込書

1. 貴社名 _____

2. 連絡先 _____

3. 記入者名 _____

4. 6月29日（月）の出欠 出席（ 名）、欠席
（どちらかに○をしてください）

出席の場合記者氏名 _____

上記に記入の上、6月23日（火）までに FAX にて回答願います。

FAX 番号 072-447-8117